

稲光会報

第46巻 69号

令和5年2月15日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行人 内田陽子
題字 滝口 宏

http://wasedafencing.com



終始前年王者を圧倒した川村、15対7で勝利！(左が川村)



2022年全日本フルール男子個人優勝の川村(スポ科・4年)。



女子団体



男子フルール団体

一方で女子も、この1年間を少ない人数でがんばりました。黒田ほか(スポ科4年)、

2023年も、部員たちの活躍に応援とご支援をよろしくお願いいたします。(監督・内田敏朗)

早稲田の稲穂は、この秋もまたわかに実りました。11月の全日本選手権決勝では、加納虹輝先輩(R2卒 スポ科)が男子エペで2連覇を達成し、川村京太(スポ科・4年)も男子フルールで頂点を極めました。加納先輩の2連覇は、男子フルールの出野晴信先輩(H4人科)

以来の早稲田2人目であり、優勝者6人のうち2人が早稲田というのは、史上初の快挙です。また春の学生王座を制した男子フルールが、10月の関東学生選手権(関カレ)の団体でも優勝し、個人戦でもビュウーニック・ダグラス(スポ科3年)が先輩川村京太との決勝戦を制して、早稲田が優勝と準優勝を独占しました。



2022年全日本エペ男子個人優勝、二連覇の加納先輩

全日本選手権、関東学生選手権 男子個人種目 日本王者ワセダに降臨

下期は、関東、日本一の称号をかけた、関東学生選手権および全日本選手権が行われるが、男子個人フルールは学生が、男子個人エペでは早大OBが決勝戦に上り詰め、見事王者の座を射止めた。

越茂樹

昭和27年度卒

越茂樹先輩(昭和27年卒)が今年、御年94歳(数え年で95歳)になられるとのことで、1月22日に「ムッシュユウ・コシ95年謝恩の会」が開催されました。稲光会からは平野会長をはじめとして、慶田先輩、西澤先輩、赤井先輩、内田監督、木田の6名が出席しました。出席者は前職の同僚の方々、合唱団関係者、フランス語教師などで、越先輩の多彩なご趣味と幅広い交友関係が窺えます。越先輩のご所望により、稲光会出席者で「紺碧の空」を斉唱した後、それぞれの出席者からスピーチや昔のエピソードの披露、そして合唱団による歌の斉唱など、ほのぼのとした楽しい時間を過ごしました。越先輩は相変わらず



ずかくしゃくとしており、お元氣な様子です。私も是非あやかりたいものです。(文・木田武夫)

酒井禧安

昭和35年度卒

早稲田大学を出てから60年、色々の趣味を持つてきたが作動、かっぱれ、カラオケ、ジム、いずれも二十年近く続けているが、特に武道は健康と護身のため三十年以上続けている。武道は計



十一段になつてはいるが、特に無外流の居合道は現在も週に一度は必ず道場に通っている。無外流は現在御宗家を頂点として門第二千人の隆盛を誇っている。私も最古参の門第十人の中に入り、先日は長く流派のためについて他の門弟の模範になつたという事で御宗家から表彰状を頂いた。居合は真剣を使つて巻ワラや竹を切断したりするので一寸の油断で相手や自分を傷つけたりするので緊張感がたまらない。先日後楽園で2万の観衆の前で演武を行ったこともある。「継続は才能なり」フェ



若手OB・松山先輩も活躍中!



松山先輩、2022年ワールドカップボン大会フルール個人優勝!



ンシングで培った根性と身体機能をいかし居合を今後も続け「流石はワセダ」と言われるようになります。



植竹清

昭和39年度卒

ゴルフでエージシユート達成!

1m弱のバットが入った瞬間「やったあー!!」と思わず歓声を上げました。昨年7月満80歳10カ月でスコア80(38、42)、コンペでエー

ジシユート(年齢と同じかそれ以下のスコア)を達成、会から祝い金1万円、記念プレート、ゴルフ場から証明書が贈られました。2回目は10月に78(37、41)で達成しました。思い起こせば50数年前入社直後社内ゴルフコンペにフェンシングをやっていたのだからやれと無理やり参加させられ130(以上)叩きました。頭にきてそれから執念で一に練習、二に練習またゴルフ教室やメンタル講習会にもどんどん参加して腕を上げました。これからはホールインワンを狙います。祝い金1万円は部に寄付しましたがホールインワンを達成したらもっと寄付をしますので現役の皆さん、期待しててください。

春季合宿のご案内

令和5年 3月6日~3月10日

ホテルジャーニーロード
〒314-0408 茨城県神栖市8614
☎ 0000-00-0000

コロナ禍のため先輩方の参加はお控えください。現役への差し入れは大歓迎です。栄養補助食品(ゼリー、飲料、果物)等 ※ドーピング対象となり得るエナジードリンクはお控えください

